

## 編集方針

本レポートはいすゞグループの CSR 活動に対して、「ステークホルダーの皆様といすゞが共に重要な課題であると考えるテーマ」について、皆様にご理解をいただくために発行しています。本レポートを通じてステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図られ、いすゞグループの CSR 活動がより皆様や社会から期待されるものに成長できればと願っています。

本年度レポートでは、2013年5月に発行された持続可能性報告書の国際的ガイドラインであるGRIガイドライン第4版(G4)に対応し、情報開示の見直しを行いました。また、2016年度から着手しているマテリアリティの特定については引き続き、いすゞグループが重点的に取り組むべきテーマの特定に向けて作業を進めています。進捗については今後発行予定のCSRレポートにて報告します。

### 報告対象の範囲

いすゞ自動車株式会社を中心に、国内・海外のいすゞグループ各企業が取り組んだ活動について、報告しています。

※本文中「いすゞ」とあるのは「いすゞ自動車株式会社」単体を意味しています。  
※詳細は有価証券報告書を参照ください。

 有価証券報告書  
<http://www.isuzu.co.jp/investor/youka/index.html>

### 報告対象の期間

原則として、2016年4月1日～2017年3月31日までの活動について記載しています。ただし、お伝えしたい取り組みについては一部この期間外の報告も含まれています。

なお、2017年度事業概要や財務情報につきましては「ISUZUホームページ」を参照ください。

### 発行情報

2017年8月発行  
(前回:2016年9月発行/次回:2018年8月発行予定)

### 参考にしたガイドライン

▶ GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版」

※GRIガイドライン(サステナビリティ・レポート・ガイドライン):CSRレポートの内容の質ならびに信頼性・比較可能性向上のため、国際非営利団体であるGRI(Global Reporting Initiative)によって作成された世界統一ガイドライン。

### 報告期間内に発生した重大な変更

いすゞでは規模、構造または所有形態に関して、報告対象期間中に以下の変更がありました。

 いすゞ、東アフリカ事業の取り組みについて  
—General Motors East Africa(GMEA)の株式取得—  
[http://www.isuzu.co.jp/press/2017/2\\_28prs.html](http://www.isuzu.co.jp/press/2017/2_28prs.html)

### 報告に関するお問い合わせ

いすゞ自動車株式会社  
コーポレートコミュニケーション部  
CSR環境推進グループ  
TEL:03-5471-1394